

ねえ、本当に、その…い、犬とさせる気なの？

…そう、本気なのね

借金の肩代わりをしてくれる救世主だと思って
アンタなんかには気を許したわたしがバカだったわ
いいわ、やってやるわよ！





だっせーん

…この前は後ろからだっただから
解らなかつたけど…
こ、こんな形状してるんだ…

ハッ

キーン

キーン

キーン







ぐわっ
ぐわっ

ぐちっ

ぐちっ

ぐわっ

ぐわっ
ぐわっ

ぐちっ

ぐわっ

ぐわっ

ぐわっ
ぐわっ

ぐわっ

な、なによ
この気持ち悪い
おちんちん…!?

細いの奥まで
突き刺さってくる……!



や、ちよじ……ふじ詰めしてるのよー…

フタは本当はキレイ好きだからって…
こ、これはそういう問題じゃないでしょ!?

はっ

はっ

いっ

ちやっ

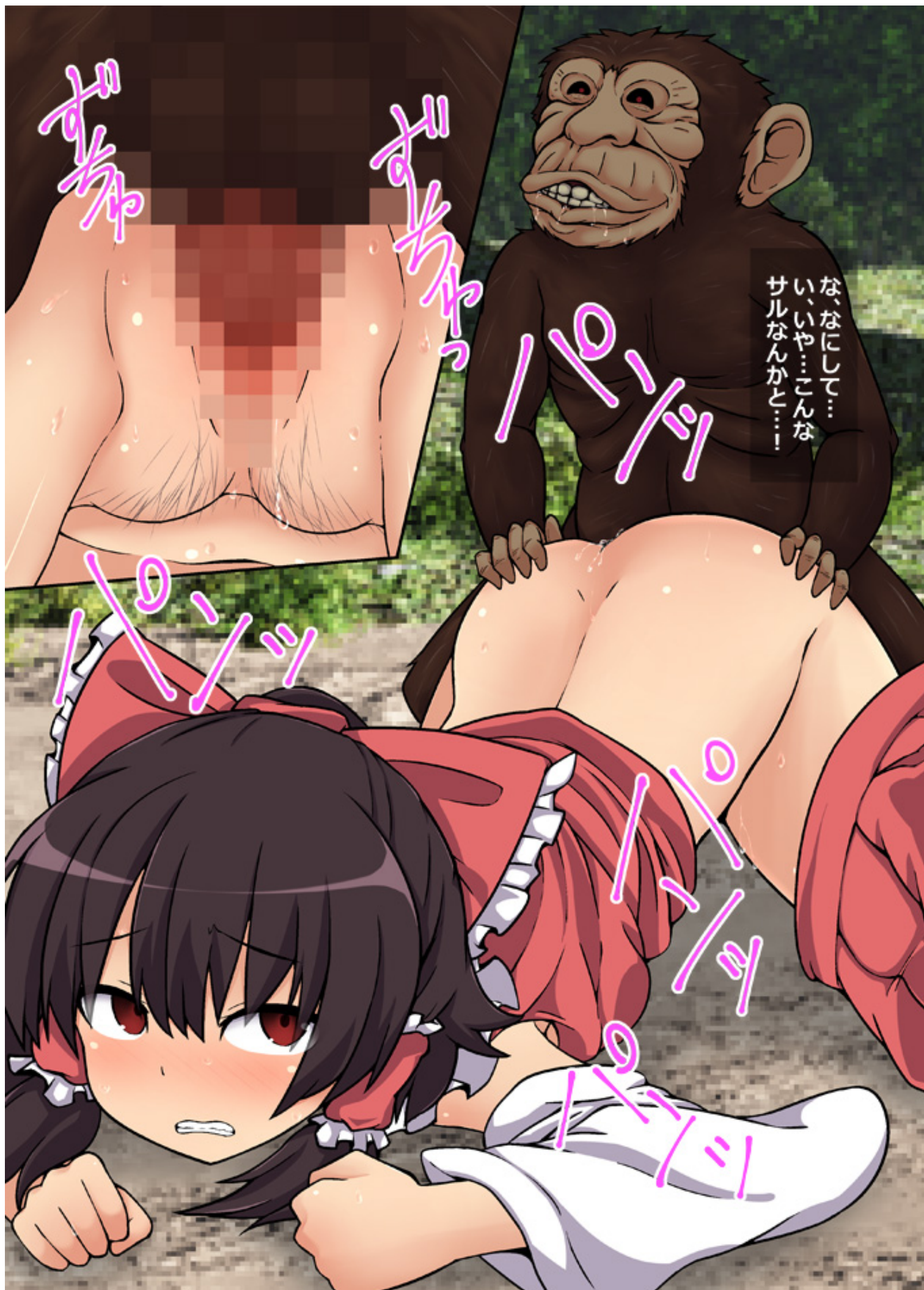
くちっ

くちっ

くちっ







ずちゅ

ずちゅ

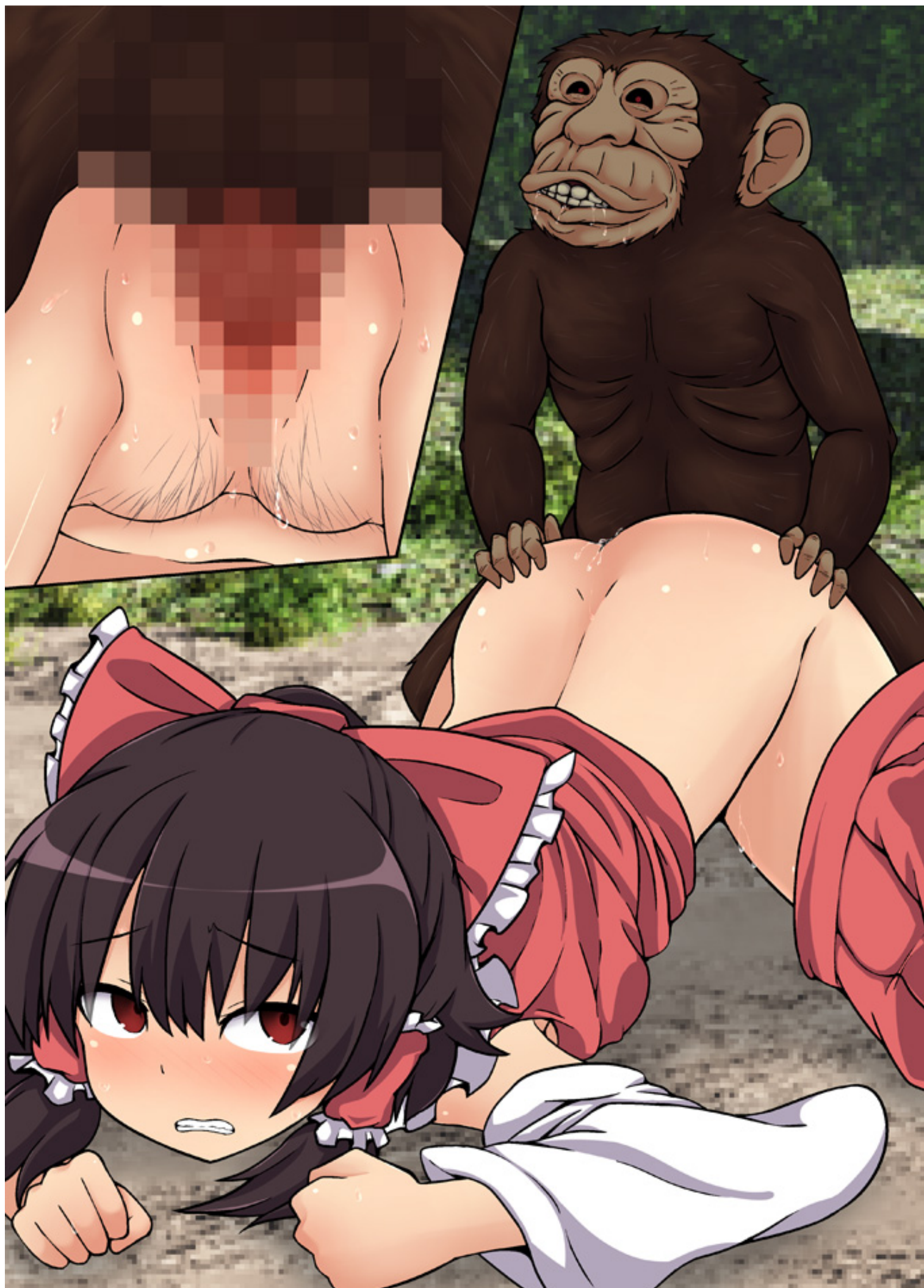
ゴゴゴ

ゴゴゴ

ゴゴゴ

ゴゴゴ

な、なににして...
い、いや...こんな
サルなんかと...!



ん……！
体は人間より小さいくさに
アレのサイズと硬さだけは
一人前なんだから……！







びびる

え…ちよ…ちよつと!?
何が来ても驚かないって言ったけど
流石にこれは無理よ!

こんなデカイの絶対
アソコ裂けちゃうって!



あんたも見えないで
コイツどうにしかさないよう
ペットの面倒を見るのは
飼い主の義務なんですよ!?

はっ

はっ

ぴちゅっ

しゅっ

ちゅぽっ

あ……っ♡
ちゅっ、ちゅっ、ちゅっ
どいねんしゅっ……っ



【靈夢】「んー… な、なにさー」

魔獣退治に来た靈夢は、
魔獣が憑依した野良犬に
押し倒されてしまった。

【靈夢】「は、離しなさいっ…」

野良犬は靈夢を押し倒したまま、下腹部を押し付ける。
発情期の犬のペニスが靈夢の割れ目を強引に愛撫する。

【靈夢】「な、なんで股間に体を押し付けてるの…」

こいつまさかっ…！ やめっ…！

異変に気が付いた靈夢は、野良犬を振りほどこうとするが、
野良犬のペニスは、靈夢の割れ目へと入り込んでしまった。





【霊夢】「…ほら、今日も相手してあげる。
魔物を大人しくさせるのは、
博麗の巫女の仕事だからね」

野良犬に犯された霊夢は、
すつかり快樂の虜となり、
その魔物を倒さずに、
森の中でかくまう事にした。

【霊夢】「準備出来てるから、
早く出てきて、
私を犯しなさい」

霊夢は四つん這いになり、
尻を森に向ける。
下着を付けていない割れ目は、
野良犬の陵辱を期待して濡れており、
いやらしい雌の匂いを漂わせる。

《ガサガサガサガサ》

【霊夢】「んっ…♡
来た来たっ…♡」

森の奥から、魔物の瘴気と、
這いずるような足音が聞こえてくる。
野良犬は獣臭い異臭を放ちながら、
霊夢の体に覆いかぶさってきた。

【霊夢】「っ…♡ は、はやくっ…♡
私の子宮を…かき回してっ♡」

霊夢の声に応えるように、野良犬はペニスを
霊夢の濡れた割れ目へと押し付ける。
霊夢は自ら腰を動かし、
野良犬のペニスが割れ目に入りやすいよう、
位置を調整していく。
そしてついに、野良犬のペニスが
霊夢の膣を貫き、体内へと入り込んできた。



